



# 議会だより



## 「里山のアトリエ坂本分校」の紹介

**設立年** 坂本大沢区地内の旧八幡小学校坂本分校が閉校して1年後、2007年4月に、立体アート彫刻を中心としたアトリエとして生まれ変わりました。自然と村人とアートとが一体となった様々な活動を進めています。

**雷神様の再興** なかでも2015年11月には3年がかりで村人とともに行ってきた歴史に残る事業として、大沢区の前山の頂上にある「めえ山」の雷神様は40年の昔からお参りに訪れる人もなく、朽ち果てて埋もれていた状況から、彫刻家が雷神を彫り上げ、スタッフが雷神への道を開き、大沢区の人々が何百kgもある土台石を頂上に運び上げ、雷神様の再興を成し遂げました。

今では、里山のアトリエ坂本分校を訪れる多くの人々が雷神様まで、自然観察を兼ねてお参りに行くことができ、「めえ山」のすそ野には村人たちが植え込んでくれた100本のアジサイが見事に花開いて目を楽しませてくれます。

**活動内容** ・森林環境整備事業 ・彫刻シンポジウム  
・さなぶり歌謡祭り ・透明水彩講座  
・秋の歌謡コンサート ・里山デッサン会

**問合せ先** 里山のアトリエ坂本分校  
代表 若杉儀子 (TEL0242-83-8677)

## ばんげの宝 【里山のアトリエ坂本分校】

～ 自然と村人とアートがつなぐ暮らし～

### 第4回定例会(12月議会)目次

#### 注目!

#### 「ばんげ未来トーク (2P～3P)」

- ◆ 第4回定例会の主な審議案件 …… 4～5P
- ◆ 第2回臨時会・第3回臨時会・定期監査 …… 6～7P
- ◆ 補正予算、意見書、賛否の公表 …… 8P
- ◆ 一般質問 …… 9～14P
- ◆ 議会の動き …… 15P
- ◆ 新年のあいさつ・皆さんの声・編集後記 …… 16P



# 町民の皆さんと議会をつなぐ 『ばんげ未来トーク』が バージョンアップ



## 議会初の試み

## 坂下中学校生徒会 (11/26)

「農業」、「観光」、「自然」をテーマに、町の未来を大いに語り合いました

町民と議員による意見交換会である未来トークを、今回初めて坂下中学校において、10名の生徒会役員と実施しました。

「農業」「観光」「自然」の3つの政策提言を行う中学生3班のテーブルを、常任委員会ごと4名ずつの議員が約12分間隔で3つのテーブルを回り議論するワールドカフェ方式で実施しました。

若い世代に町への関心を持ってもらう狙いからの企画でありましたが、生徒達は若い目で町政を注視しており、農業の六次化やSNSを使った情報発信、秋祭りの審査基準の変更、さらには街中へのゴミ箱の設置等々、我々とは全く違う観点からの提言や問題提起がありました。

全ての生徒と全議員が顔を合わせ話し合う方式で行ったこともあり、お互いが初めは緊張していましたが、最後は「え、もうこれで終わりなの」という声が出た位、双方にとって有意義な話し合いとなりました。



## 新町子ども会 (10/19)



子ども会(保護者) 7名が参加し、子ども支援・教育、環境まちづくりについて意見交換を行いました。発達障害児への支援について懸案が提起された他、保育申請情報のあり方、インフルエンザ予防接種無料化、また、改善要望の受け方など、身近なことについて意見が交わされました。個々が抱えている事案や問題を、ひとくくりの施策に押し込むことのないように、それぞれの事情に寄り添った柔軟な対応が必要と再認識しました。

## 鉄砲町婦人会 (6/25)



新築の鉄砲町自治会館で鉄砲町婦人会の皆さん9名と女性議員4名、地元議員1名の参加で意見交換を行いました。

- ① 「高齢者福祉の問題」
- ② 「産業振興の問題」
- ③ 「環境・まちづくり」

など、様々な要望や意見や疑問が出されました。

町民の皆さんそれぞれが町に対する思いを持ち、心配してくださっていることがヒシヒシと感じられ、頭が下がる思いでした。

## 茶屋町自治会 (11/28)



自治会役員、婦人会、子供会保護者等町内11名により産業建設常任委員会の委員と意見交換会を開催しました。

下水道の進捗状況、特に、四十石地区の下水道普及率を上げるためには、優先的に北裏排水路を利用し、工事の進捗を図る事が加入促進、普及率向上に繋がるのではないかなど、町民生活に直結する町政の諸課題に対し建設的な政策提言が数多く寄せられ有意義な会議となりました。

## 会津坂下町建設業組合 (10/3)



町の舗装の状況を見たとき南幹線の交通量が近年増加しているが、南幹線は町道であり国道と同じ舗装構造では無い為、ある程度の交通規制が必要ではないか、また、多面的機能支払交付金は使い勝手が悪すぎる事、建設業での外国人労働者の雇用は現在の法制度下では無理がある事、更には町職員の業者への対応や空き家対策として、解体に対する補助制度を設け更地化を進めれば、防災面でも有効であり、町としても固定資産税の増収が図られるのではないかなど、まちづくりへの提言がなされました。

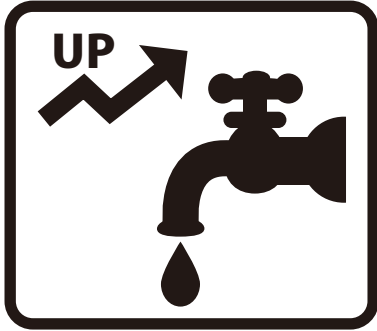
皆様の声を聴いて、もっと良い町へ

# 議会が積極的に活動

ご参加頂いた多くの皆さんに感謝します。

令和2年4月より

# 各種利用料金を改正



第4回  
(12月)  
定例会  
(12/5~12/13)

## 水道事業給水条例の一部改正

水道料金(平均)  
12.9%アップの改正

令和2年4月1日から水道料金(各口径の基本料金・従量料金等)の改正、水道法等の一部改正に伴う町条例の改正を行いました。

## 下水道条例の一部改正

下水道料金(平均)  
11.2%アップの改正

令和2年4月1日から下水道使用料(基本料金や従量料金・従量区分)の改正、「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布等に伴う町条例の改正を行いました。

### 反対 五十嵐一夫議員

改正される料金設定は合併浄化槽を導入している家庭の年間維持費と比べて低く、経費回収率をもっと高め、一般会計からの支出を抑えるよう再検討すべきであり、改正に反対します。

### 反対 五十嵐一夫議員

現在の農集排使用料算定に不満は無い。従量制にすれば現在の農集排事業の中では使用料の経費回収率をさらに低下させることに繋がるため、従来の経費回収率を堅持するよう検討すべきであり、改正に反対します。

## 農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

使用料の算出方法  
人頭制から従量制へ

令和2年4月1日から農業集落排水処理施設使用料の改正(人頭制から従量制へ変更)に伴う条例改正を行いました。

## 会津西部斎苑条例の一部を改正する条例

火葬炉使用料が  
3千円アップ

6町村で構成されている会津西部斎苑の建設負担金町期間での平準化を図るとともに、現有施設の運営及び施設維持に係る財源確保の観点から、12歳以上の火葬炉使用料を、現行の「2万8千円」から、令和2年4月1日より「3万1千円」と料金改定する条例改正を行いました。



会津西部斎苑 (火葬場)

### 議論の経過を知りたい方は

定例会の会議録をホームページで公開しています。公開は2月末以降を予定しています。

**公共施設使用料の負担を  
求めると共に、徴収する  
区分を1時間単位に変更**

**公共施設使用料の見直しに  
伴う関係条例の整備に関す  
る条例**

公共施設使用料について、受益者負担の考え方から、施設使用に係る経費の一部について、利用者に負担をお願いすることとし、令和2年4月から関係する施設の使用料改定に伴う条例改正を行います。

(1) 会議室等の使用料

面積要件	時間単価	主な施設
100㎡未満	100円	コミセン会議室
100㎡以上 300㎡未満	150円	健康管理センター多目的ホール
300㎡以上	200円	中央公民館大研修室

(2) 体育施設の使用料

面積要件	時間単価	主な施設
1000㎡未満	200円	武道場・改善センター多目的ホール・コミセン体育館
1000㎡以上	400円	小中学校体育館

この条例に対して  
私はこう考える

**討 論**



**反対**

佐藤 宗太議員

会津坂下町公共施設使用料の見直しに関しては、一定の理解を示すが、水道光熱費2分の1程度の負担としていた使用料設定が、施設によって負担割合が異なり、使用料設定根拠があいまいであり、再考が必要だと言わざるをえない。

**反対**

小畑 博司議員

議案の文言にはないが、説明の前置きに必ず出てくる「受益者負担」の意味が不明瞭ではないか。「受益者」とはだれか、この度の提案の意味・意義が浸透しているとは思えない。拙速な進め方でマインスイメージだけが広がらないように、時間をかけて町民の皆様と話し合いを深めるべきだ。

**反対**

五十嵐一夫議員

「情けは人の為ならず」に倣い、町が登録組織やサークルからは使用料を取らないことが、回り回って、必ずや将来、坂下の未来にとって町の活力や躍進の原動力となって跳ね返ってくるのであり、今回の使用料見直しを再考するよう反対します。

**賛成**

三橋 薫議員

公共施設である限り、住民すべての施設であり使用に関し対価を支払うのは当然であると考える。  
しかし、使用料徴収が地域づくりの衰退、団体活動人々のつながり等、住民コミュニティの阻害にならない様にすべきである。  
使用料収入については、施設の光熱費、修繕に利用され、町づくりのため運用されることを希望する。

**賛成**

渡部 順子議員

利用料については、平成17年から議論がされてきました。子供たちがソフトボール大会で利用しているトイレには、感謝の気持ちとして礼状と共にトイレトパーパーが置いてあります。このことから、私は本来あるべき姿、使用料を頂くことは、当たり前と考えます。したがって本案に賛成します。

**反対**

横山 智代議員

話が性急すぎる。利用者の話しをもっと良く聞くべきである。一緒に考えて行くことが必要と思う。

**賛成**

酒井 育子議員

これまで無料だった使用料を負担することは誰もが嫌がることであるが「人口減少、超高齢化、緩やかな経済の縮小する時代」に突入した今、考え方を改め、使用料見直しは不可欠なことであろうと考える。今回の議案は公共施設を利用して頂く方々に光熱水費等をご負担頂くものであり、利用する町民に不便が無いよう万全を期して頂くことを切に希望する。

**賛成**

猪俣 恒雄議員

使用者が使用割合に応じて使用料を負担する受益者負担の原則は、負担の公平性の面からも当然の制度であり、当町のごみ袋有料化もその一環である。  
施設の使用料の有料化は過去5年以上前から議論されてきた議案である。  
減免する措置もあり、今回の条例は町民と町の在り方を明示したものと評価し賛成する。

**賛成**

渡部 正司議員

利用団体の活動を阻害しないこと、施設の整備をしつかりやること、減免の範囲及び再検討の見込みはあるとの約束を守ることを条件に賛成する。

11/5

## 第2回 臨時会

人口が減少しても活力があり、町民一人ひとりが  
生きがいを持てる持続可能な町を目指して

# 第六次振興計画を可決

令和2年度から10年間の町の将来像や方向性を示す第六次振興計画の基本構想や基本計画が第2回臨時会において議員全員により可決されました。

計画策定に当たっては、30歳以下の若者でつくる「U30まちづくり集会」や町若手職員「ばんげ政策デザイン塾」の意見を踏まえ、「ばんげ創生まちづくり委員会」が素案を作成し、意見公募を経て町が最終的に計画を策定しました。

### まちの将来像

## やっぱり“ばんげ”がいい!

～住み続けたい、やりたい事があふれるまち～

- ①自ら学び、学び合う「ひとづくり」
- ②安全・健康で快適な「くらしづくり」
- ③活力と魅力があふれ、人が集う「しごとづくり」
- ④一人ひとりがつながり、みんなで創る「しくみづくり」

### まちづくりの理念

## みんながつながる

まちづくりの理念「みんながつながる」には、住民同士、住民と集落、集落と地域がつながるまちづくりを目指し、「つながるまち」はあたたかい家族のような町であり、笑顔があふれ、夢や希望をかなえることができるまちにしたいという想いが込められています。

### 賛成

山口 享議員

振興計画とは、将来の目標実現に向かって取り組んで行くための必要な指針となるものであります。ばんげ創生まちづくり委員の皆様が真剣に議論を尽くし、一字一句考えて作られたものだと推察します。  
第五次振興計画の検証から第六次基本構想、基本計画の協議をしながら、地域づくりを一番に掲げ「みんながつながる、やっぱりばんげがいい」という基本理念の下、あえて目標指数を掲げない原点到ったシンプルな計画であります。まさに若者へのメッセージかと思えます。



## 討 論

## 来年の作付を万全にするために

～台風第19号の復旧予算に賛同～

12/25

## 第3回 臨時会

12月25日に開催された第3回臨時会において、条例改正、一般会計及び各特別会計補正予算の8件について、審議し、すべて可決しました。



災害を受けた揚水機（袋原区）

### 令和元年一般会計 補正予算（第4号）

3048万円を追加する補正予算。

主なものは、県人事院勧告に伴う職員の給与改正等に伴う予算措置として約413万円、台風第19号による災害復旧に伴う工事費の費用として約1329万円が計上されました。

また、台風19号に関するこの他の復旧費として、設計委託費及び揚水機の修繕費用は、迅速な対応が必要なことから、予算費で対応しています。



# 定期監査

## (監査員の意見書)

令和元年度の町の事業・執行状況が適正・適切に実施しているのかを11月6日から15日までの8日間かけて、各部署をチェックしました。

『各種事業も計画通り進められ、且つ、諸帳簿・書類の整備状況においても概ね良好であるが、下記事項については改善処置を調査・検討することが望ましい』との報告がなされました。



町へ定期監査の意見書を渡す  
仙波代表監査員と酒井議員

- 各課連携強化した徴収率向上を図り、更なる自主財源確保の努力と更なる国・県等の財源確保について調査・研究を進められ、財政健全化に向けた財政運営に努めること。
- 各種事業の一般財源削減に向け、事業ごとの収支改善策を調査・検討するなど、更なるスキルアップを図ること。
- 今後の公有財産管理として、きめ細やかな管理記録を行い、長寿命化対策を講じると共に、管理規則・責任体制の明示や重要書類のバックアップ体制の整備を検討すること。
- 備品管理の重要性を損ねることなく、煩雑な管理規則を見直し、実情に合った簡素な管理の検討すること。
- 今年度整備された幼稚園児通園バスの冬期間の安全性に万全を尽くし、小中学校に新たに設置された空調設備の適切な運用を指導すること。
- 過度な削減とならないよう十分な検討と配慮を心掛けること。



# 主 な 質 疑



### 問①：計画に指標がなくなった理由は？

計画期間を10年間とした振興計画策定時に、望ましい姿が多様な今の時代において、10年後の目標値を決めることは困難なため、毎年策定している実施計画及び行財政改革プランの中に数値を盛り込む事で、1年ごとにきちんと検証していく。

### 問②：現状と課題として、第五次振興計画の検証結果をもっと盛り込む必要があるのでは？

第五次振興計画の検証の中で、第六次振興計画はシンプルな形にしたい、コンパクトにまとめたい、町の振興計画をわかりやすく、身近に感じて貰えるようにするという策定委員会の意図が大前提としてある。

### 問③：前回の計画に示された「新庁舎建設」は？

振興計画には「財政シミュレーションの結果を踏まえて役場新庁舎建設を具体的に進めます」と記載し、10年間のうち前期5年間で財政健全化に取り組み、後期5年間で財政的な裏付けを取りながら具体的に建設へ向けて進めていきたい。

### 賛成

五十嵐正康議員

協働の取り組みの成果が第六次津坂下町振興計画案であると考えます。その計画案に対して、我々議員は、より良い取り組みにしていたために意見や感想を述べさせていたただくことはあるかもしれませんが、決して反対するようなものはありません。坂下町の協働の取り組みが益々進展し、現在の坂下町の財政危機を町民、行政一体となって克服することを願って、賛成の意見いたします。

### 賛成

小畑 博司議員

大変に多くの時間をかけて第六次振興計画基本計画が作られた事に敬意を表します。しかし、町の最上位計画である以上、第五次振興計画を検証している議会に素案を提案し、意見を聴取した後に検討委員会にかけざるべきだとは思いません。いざいざにしましても、10年かけてより素晴らしい町にするために活かしていただきたいと思います。

## 台風19号の被災による災害復旧予算

災害箇所	種別	予算額 (単位：千円)	備考
町内 6カ所	設計委託	8,017	予備費 対応済
袋原	揚水機 (施設)	5,871	
館ノ越	揚水機 (施設)	3,328	
萩ノ窪	揚水機 (施設)	2,429	
袋原	田 (農地)	2,302	補正予算 (第4号) で新たに計上 された事業費
洲走	田 (農地)	1,327	
	水路 (施設)	8,093	
袋原	農地保全 施設 (施設)	1,569	
合計		32,936	

令和元年度一般会計補正予算(第3号)の主な内容

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計 補正予算(第3号)	73億 3416万6千円	9329万9千円	74億 2746万5千円

<歳出事業の主な増減の内容>

①各地区コミセン付附属体育館(照明器具)の修繕費	48万円	増
②障がい者福祉サービスの増に伴う自立支援給付負担金	1510万円	増
③利用者の増に伴う私立保育所等施設型給付金事業	2083万円	増
④経清算額確定に伴う多面的機能支払交付金事業	3391万円	増

令和元年度一般会計  
補正予算(第3号)に  
対する討論

反対

渡部正司議員

町財政が厳しい中、多面的機能支払交付金約3千4百万円を未使用として返還する補正だ。全くもつたいない。一旦手中にした交付金を活用できない現状をどう見るか。活用する努力が足りなかったのではないか。受益者負担として各種料金を上げるとしている最中に、交付金を使いこなせないでいることを町民にどう説明するのか。

ピックアップ

議員  
発議

新たな過疎対策法の  
制定を求めて

関係大臣に「意見書」提出

令和3年3月末に現在の「過疎地域自立促進特別措置法」の失効に伴い、町の将来のために、過疎対策法が果たしてきた役割を考え、失効前に新たな過疎対策法の整備をする必要があると議会全員協議会において決定され、猪俣副議長が本会議に上程し、採決の結果、議員全員の賛同を受けて、国に意見書を提出しました。

審議案件に対する賛否の状況 (賛否が分かれた議案)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	物江 政博	赤城 大地	横山 智代	渡部 正司	小畑 博司	佐藤 宗太	山口 享	三橋 薫	青木美貴子	五十嵐正康	渡部 順子	五十嵐一夫	水野 孝一	酒井 育子	猪俣 恒雄	古川 庄平
会津坂下町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
会津坂下町公共施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
会津坂下町立学校体育施設開放条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
会津坂下町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
会津坂下町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
令和元年度会津坂下町一般会計補正予算(第3号)	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません



# 一般質問



# 議員が町政を質す！

12月定例会では、10人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、10ページから14ページです。

質問議員（質問順序）		質問項目	頁
1	 水野孝一	①歳入の確保について ②厚生病院（移転後）の跡地について町は関与していくべきと思うがその考えはあるのか ③鶴沼緑地公園の管理と周辺の各スポーツ施設の利用状況と課題について	P10
2	 三橋薫	①町長の政治姿勢について	P10
3	 五十嵐一夫	①緊縮政策により活力が萎縮していく町、どう打開するのか ②人口問題、企業誘致と「婚活」 ③みなし道路事業の取組と現状について	P11
4	 山口享	①町の防災対策について ②町の財政状況について ③子供たちの教育環境について	P11
5	 赤城大地	①第六次振興計画について ②地域経済の活性化について	P12
6	 青木美貴子	①第六次振興計画について	P12
7	 横山智代	①町政健全化について	P13
8	 渡部正司	①会津坂下町の成長戦略について	P13
9	 小畑博司	①防災・減災計画の再点検が必要ではないか ②食育推進計画の進捗について伺う ③老人センターの復活はどうなっているのか伺う	P14
10	 佐藤宗太	①町政について ②産業について	P14

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。

## 第4回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。

町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。



## 議会傍聴へおいで下さい

令和2年第1回定例会は、2月19日から3月4日までの会期（予定）です。一般質問は2月25日（月）、26日（火）午前10時開会予定です。



水野 孝一議員

### 歳入の確保についての方策は 財政健全化プランの中で実施します

**問** 町有財産活用 of 具体策とふるさと納税の取り組み、企業誘致策

**答** アクシヨンプランの中で歳入の確保策として、町税等の確保・

受益者負担の見直し、町有財産の有効活用、ふるさと納税の推進の4つを具体的な取り組みとして掲げて実施していきます。活用予定のない町有財産は、売却を進めていきます。ふるさと納税は、返礼品の拡充とPRの充実を図り、今後もきめ細やかな対応を図ります。新規企業は、今まで同様周辺市町村等で構成する団体と連携し、首都圏での誘致活動を最優先目標に、誘致活動に積極的に取り組んでいきます。

### 厚生病院移転後の跡地への関与は

**町も協議に加わっていく考えです**

**問** 厚生病院移転後の跡地について

**答** 町は関与すべきと思うが考えは。現在のところ、跡地利用については未定であるとのこと。



移転される厚生病院

今後、厚生連において検討されるものですが、その跡地利用如何での町への影響は大きなものがあります。あくまでも県厚生連で計画するものでありませんが、町も協議に加わっていくかなければならないと考えています。

### これも質問

**問** 鶴沼緑地公園と各施設の課題は。

**答** 施設の経年劣化が大きな課題ですが更新は充分に対応できない。



三橋 薫議員

### 町の将来像と改革について問う 持続可能なまちづくりを進めます

**問** 町が目指す将来像は。

**答** 地域を基礎とした「ひと」「くらし」「しごと」の諸課題に取り組み、人口が減少しても活力があり町民一人ひとりが生きがいを持てる持続可能なまちづくりを進めます。また「ばんげ」に誇りと愛着をもち「これからも住み続けたい」「故郷にもどりたい」「夢を実現したい」と思える町づくりに取り組みます。

**問** 行財政改革をどう進めるのか。

**答** 令和6年度までは財政健全化アクションプランを優先して進め行政経営改革プランとの整合性を図りながら計画性をもって各事業に取り組みます。また、財政健全化を含めた行財政改革を進めるために真に必要な事項を洗い出し全庁一丸となり取り組みます。

### 防災体制強化をどう進めるか

**自主防災組織の育成を図ります**



自主防災組織の訓練

**問** 防災強化の仕組みづくり、整備について問う。

**答** 防災体制の万全を期し自助と互助を基本に助け合いながら「自分の命と地域は自らで守る」という住民意識を醸成し自主防災組織の育成を図ります。自主防災組織は発災直後の安否確認や救出等の初動活動において大きな効果が期待されます。平常時から近隣住民の結びつきや地域社会とのつながりが極めて重要となる事から行政区単位に位置付けし、平常時より官民問わず災害協定を締結している各団体との連絡体制を強化し相互連携を図ります。



五十嵐一夫議員

### 町の緊縮政策の見解は

ご不便と将来に対する不安を与えたと認識しています

### 問

町の緊縮政策で、町も町民も萎縮してしまっているのではないかと、どう打開するのか、また坂下の近未来のイメージがあるのか伺う。

### 答

庁舎建設延期や糸桜里の湯ばんげの入館料改定、各地区からの要望等にも充分に対応できない状況など、ご不便と町の将来に対する不安を与えたと認識しています。

第六次振興計画基本構想において「みんながつながり、夢や希望をかなえることができるまち」を「まちづくりの理念」に位置づけ、区切りの中でのイメージではなく、10年後の「人口が減少しても活力があり、町民一人ひとりが生きがいを持ち持続するまち」の実現に向け、まちづくりを進めてまいります。

### 企業誘致の現状と成果を伺う 関係部署と連携し、企業立地の推進に取り組んでいきます

企業等の誘致の取組の現状、成果について、企業立地推進本部の組織は効果的に機能しているのか。

### 答

周辺市町村で構成する団体や県と連携し、首都圏展示会等において、誘致に向けたPR活動や県のホームページを活用した情報発信を継続的に展開してきました。成果として企業進出3件、町内移転1件がありました。

今後関係部署との連携と情報共有を強化し、企業立地の推進に取り組んでいきます。

### これも質問

みなし道路の取組について。

未買収が128件あり、35件について買収を早めに済ませたい。



坂本工業団地に新設された第2工場



山口 享議員

### 厚生病院新築に伴う建設支援金は

近隣市町村と連携し支出します

### 問

町がなぜ建設支援金を負担するのか根拠を示せ。

### 答

法令等による町の負担義務があるものではないが、しかし、本町への誘致等、坂下厚生総合病院が長年にわたり本町や近隣市町村の医療を支えてきたことから、近隣市町村と連携し建設支援負担金を支出すべきと考えるものです。

病院側とは建設費の10%及び10億円を上限として交渉してきました。坂下厚生総合病院運営委員会を構成する近隣市町村にご理解いただき、一部負担の協力を得られる案として、立地自治体として建設負担金の7割を負担する案で協議・調整しているところです。

役場が被災した時の対応は、執務室を非常用自家発電設備等が整備されている中央公民館へ移し対応いたします。

### 町の防災対策について問う 減災への取り組みが 重要と考えています

災害弱者への対応を示せ。誰が誰を見守るのか。

少しでも人的、物的被害を軽減するための、減災への取り組み



着々と建設が進む厚生病院

### 問

が重要と考えております。区長・自治会長・民生児童委員の協力により名簿を作成し、災害時の避難誘導に活用させていただきます。

### 答

### これも質問

小・中学校のエアコン維持費の試算を問う。

電気料金は、小・中学校合わせて、月72万9千円の増額と試算しています。



赤城 大地議員

10代・20代の意見は

町政に反映されるのか

次年度より具体的に取り組みます

問

第六次振興計画において「若者」による地域づくり活動の推進」が取り組むべき重要な施策とされているが、具体的にどの様な取り組みを考えているのか伺う。

答

次年度からの第六次振興計画において、「まちづくりの主体としての若者」を重要なキーワードとして位置づけており、アンダー30まちづくり集会から提案のありました「若者」による地域づくり活動の推進」を基本計画の中に取り入れました。

具体的には、青年会議所や地元高校と連携し、定期的に「若者集会」を開



若者が参加するまちづくり集会

催す中で、若者の意見やアイデア等を施策に反映させる仕組みを構築してまいります。また、町内の企業や各種団体の協力を得ながら、まちづくり活動を実践することで、将来のまちづくりを担う人材育成につなげてまいりたいと考えております。

答

本年度、夏から秋にかけて国道49号線沿いの大手企業の店舗が次々と閉店、撤退した。この現状についてどのように考えるか伺う。

問

国道49号線沿いの店舗の閉店をどのように考えるか  
地域経済に影響があるものと懸念します

これまで町では中心市街地の活性化に取り組んできたところでありますが、住民ニーズや交通状況の変化から、経済活動の中心は中心市街地から大型店舗の立地する幹線道路沿線に移行しているのも事実です。この現状において、店舗の閉店は地域雇用や住民の消費生活に少なからず影響のあるものと考えます。

問

実施計画を行うにあたって町民・行政・職員の具体的な関り方は。一月には振興計画の住民説明会を地区単位に実施して参ります。

答

町づくり・地域づくりには町民・行政・職員が丸となり取り組みなければなりません。町づくりの中心的な担い手となる職員の理解と意識の共有を徹底して参ります。みんなが繋がる仕組みを構築するため令和2年度より、住民・地域・行政のネットワークの中心的担い手として、各地区コミュニティセンターに町が直接雇用する「地域づくりコーディネーター」を配置いたします。

問

第六次振興計画となったことによる事業の見直しについて伺う。

答

「人づくり」・「暮らしづくり」・「仕事づくり」・「仕組みづくり」の実現に向け、真に必要な事業について精査し、重点的に進める事業を核として各種事業の見直しを進めて参ります。「重点的に進める事業」として具体的なものとしたことから、一つ一つ



青木美貴子議員

第六次振興計画を

実現するための方策は

「みんなが繋がる」仕組みを構築する

問

実施計画を行うにあたって町民・行政・職員の具体的な関り方は。一月には振興計画の住民説明会を地区単位に実施して参ります。

答

町づくり・地域づくりには町民・行政・職員が丸となり取り組みなければなりません。町づくりの中心的な担い手となる職員の理解と意識の共有を徹底して参ります。みんなが繋がる仕組みを構築するため令和2年度より、住民・地域・行政のネットワークの中心的担い手として、各地区コミュニティセンターに町が直接雇用する「地域づくりコーディネーター」を配置いたします。

問

第六次振興計画となったことによる事業の見直しについて伺う。

答

「人づくり」・「暮らしづくり」・「仕事づくり」・「仕組みづくり」の実現に向け、真に必要な事業について精査し、重点的に進める事業を核として各種事業の見直しを進めて参ります。「重点的に進める事業」として具体的なものとしたことから、一つ一つ



計画を審議したばんげ創生まちづくり委員会

の事業の実施方法の更なる創意工夫や、町民、地域、各種団体等の連携により持続可能で成果の上がる方法を検討します。「人口が減少しても活力があり、町民一人一人が生きがいを持てる持続可能な町」を目指します。



横山 智代議員

町民サービスをどのよう捉えているのか。  
維持・向上は行政としての責任です

**問** 町民サービスをどのよう捉えているのか。

**答** 厳しい財政状況にあっても、行政サービスの維持・向上に努めていくことは、行政としての責任であります。効率的で質の高い行政サービスを提供していくためには、長期的かつ総合的な視点に立った行政経営、行政サービスを提供できる職員の人材育成に積極的に取り組んでまいります。

**問** 厚生病院建設に伴う町の負担金について伺う。

**答** 厚生総合病院建設に対する町の負担分について伺う。

**問** 厚生総合病院建設に対する町の負担分について伺う。

**答** 坂下厚生総合病院運営委員会を構成する近隣市町村のご理解を得ながら、その一部のご負担をお願いすることで協議・調整を行っており、確定額ではないが本町の負担額は約6億円と見込んでおります。また、旧病院の解体に伴う本町の負担額は約950万円と試算しております。

これも質問

**問** 高齢者・運転免許返納者への取り組みは。

**答** バス券補助や公共交通利用者への優遇などの各種施策を実施。

**問** 町公共施設の使用料見直し方針は。

**答** 公平性といった視点から受益者負担としてお願いする。

**問** 職員の人材育成について。

**答** 職員としての基礎研修を実施しております。



町民サービス (安否確認を兼ねた高齢者支援のごみ収集)



渡部 正司議員

町の成長戦略はなにか  
持続可能なまちづくりを進めます

**問** 現在の町予算方針や執行状況は、内向きでギリ貧、先細り傾向にあると言わざるを得ないが、どのように考えているか。

**答** 財政シミュレーションでは、人口の減少に伴い、歳入も減少していくと試算し、歳出は、これまでの公債費が減少しないことから、あと数年は厳しい財政状況が続くことが想定されますが、財政健全化アクションプランは、この状況を改善するための取り組みです。これまでも限られた財源で、町民生活を守るために必要な事業は実施してまいりましたし、今後この考えに変わりはありませので、決して内向きではないと考えています。

**問** 成長戦略は、財政健全化アクションプランへどのように反映しているのか。また、町は成長していると考えているか。

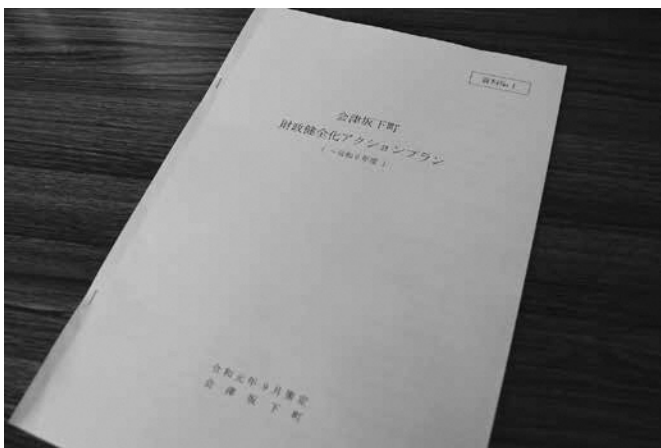
**答** 人口減少の緩和により地方交付税及び町税等の減少率も緩和すると考えられることから、財政シミュレーションの歳入に反映され、この結果を基に毎年見直しを行う、財政健全化アクションプランに反映されることとなります。

**問** 町の成長を「人口増加と経済発展」として捉えるのではなく、「人口減少と緩やかな経済の縮小する中にある持続可能な町政運営ができること」として捉えています。

**答** 町の成長を「人口増加と経済発展」として捉えるのではなく、「人口減少と緩やかな経済の縮小する中にある持続可能な町政運営ができること」として捉えています。

**問** 成長へのアクションプラン

**答** 成長へのアクションプラン



成長へのアクションプラン



小畑 博司議員

**防災・減災計画の再点検が  
必要ではないか**  
**地域防災計画を早期に改定します**

**問** 超大型台風19号をはじめ、全国各地で起きた災害はかつてない被害をもたらしました。これまでの計画では対応不可能であり、再点検が必要ではないか。

**答** 今後におきましては、地域防災計画を早期に改定します。また、令和3年には国土強靱化地域計画の策定に着手し、安全なまちづくりを推進してまいります。

**老人センターの復活は  
どうなっているのか**  
**財政面からも現実的でない**

**問** 老人センターが取り壊されて久しいが、かつては高齢者や障がい者が気軽に利用できた施設でありました。本来の施設の存在意義は何であったのか、その必要性の認識と今後の構想を伺う。

**答** 高齢者福祉の充実は、必要な事業と認識しております。しかし、コミュニティセンター等の既存施設を活用していただくことを基本とし、新たな施設の整備と運営は財政面から現実的ではないと考えております。

**問** 食の安全についてどのように推進しているか。

**答** 安全性の確保に必要な措置を講じます。



最新の防災マップ

**これも質問**

**問** 食の安全についてどのように推進しているか。

**答** 安全性の確保に必要な措置を講じます。



佐藤 宗太議員

**第六次振興計画における  
新庁舎建設を問う**  
**最重点事業と位置づけ  
実現に向け調査研究を行う**

**問** 第六次会津坂下町振興計画における最重要施策はなにか。

**答** 基本構想に掲げた「やっばりばんげがいい」を実現するため、4つの目標を定めました。その主体は未来を担う若者であります、まちの将来像の実現に向け「若者をまちづくりの主体とする」という視点に立ち、坂

下に誇りと愛着を持ち、将来にわたり住み続けたいと感じられるまちを目指し計画を進めてまいります。  
また新庁舎建設を最重点事業と位置づけ、前期計画期間内に財政の健全化を成し遂げ、後期計画期間中に事業の再開を目指し調査研究を行ってまいります。

**道の駅の管理、運営の  
係わり方について問う**  
**湯川村と連携を図りながら  
運営支援に努める**

**問** 道の駅の駅長が6ヶ月間以上の不在状態が続いている。当町が筆頭株主として管理、運営に果たす役割をどのように考えているか。

**答** 運営については第一義的に会社が主体となり進めるべきであるが、引き続き「人の駅、川の駅、道の駅協議会」を中心に湯川村と連携を図りながら運営支援に努め、不在になっている駅長については、来年度の株主総会を目的に早期に選任できるように、指導、助言を行ってまいります。



様々な方々が携わった地域づくり計画合同報告会

# 議会 活動報告

**①機序**  
 昨年1月、町は、総合的な判断のもと、中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金事業を併用している5つの活動組織に対して選択制を提案した。それに対し各方面から疑問の声が上がった。



政策提言を  
町長に提出

## 中山間地域を守りたい

**②議会の対応**  
 町が選択制にした理由や経過、国・県の方針・地元町民の声を、産業建設常任委員会を中心に検討し、政策会議において提言書をまとめ、議会全員協議会にて町に改善を求めることを決定した。

**提言書**  
 町の基幹産業である農業後継者の減少や高齢化が課題であり、特に中山間地域においては一層深刻な状況にあります。中山間地域は傾斜地が多く自然災害が発生しやすいことや、畦畔が大きく、草刈などの維持が困難であるなど、生産活動は大変であります。加えてクマやイノシシ・シカなどの獣害の拡大は、生産意欲を減退させ、地域コミュニティの維持を妨げる大きな問題となり、その最前線が中山間地域であります。  
 国が目指す目的に向かって町と国が連携して次世代に引き継ぐこと、地域資源（農地・ため池・農道・水路等）の維持向上を図る活動を支援し、さらには獣害から町民を守るためにも当該両制度の選択制は撤回し、両制度の併用継続を強く求めます。

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金事業の選択制を撤回し、両制度の併用継続を求める



管理が大変な中山間地

**研修** 分かりやすく伝えるために  
広報編集の技術を学ぶ

議会報編集委員会 研修実施

9月24・25日に議会だよりの更なる充実を目指して、全国町村議会研修会及び埼玉県北本市議会を視察しました。  
 研修内容として、広報紙の文章や広報紙の企画・編集、WEB・SNSの活用方法、議会だよりのレイアウト等について専門家の編集方法を学び、広報広聴委員会としての活動の取り組みを聞きました。今後の議会報の編集に活かして参ります。

**報告** 当町議会の取り組みを視察  
受入し、相互に刺激を受ける

視察受入（宮城県色麻町議会）

11月11日に宮城県色麻町議会の議会運営委員会が行政視察に来庁し、お互いの取り組み状況について意見交換しました。

<視察内容>

- ①議会を代表しての質問
- ②ばんげ未来トークの取り組み

# 新年のあいさつ



古川庄平議長

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「みんながつながる」を基本理念とした、今後10年間の町の方針である「第六次会津坂下町振興計画」に基づき、財政健全化に向け、今年は初年度の重要な年となります。議会では、議会改革の新たな挑戦として、県内町村初の試みとなる、全国的にも珍しい「代表質問」を実施しました。一般的に会派がある議会において行われますが、会派のない議会の実施であるため、「議会を代表しての質問」という形式で行います。

この取り組みは、町の重要な課題を議員全員で検討し、議会内の議論を活発化させ、町政の課題を共有しつつ、より町民に信頼される議会に近づいていくことを目的としており、昨年は、3月と9月に、「町財政の健全化と庁舎建設」、「外国人労働者」、「公共交通の在り方」という観点から、町の代表である町長と議会の代表者が町の課題を協議する

良い機会を設けることができました。さらに、「開かれた議会、活力のある議会」構築のため、平成29年より各種団体より要請を受け、議員が直接訪問する「ばんげ未来トーク（町民懇談会）」を行い、これまで約300人の声を伺ってまいりました。今後も多くの町民皆様の貴重なご意見を拝聴する機会を設け、その声を町政に反映してまいりたいと考えております。

私ども、議員一人ひとりが、自らの責務を自覚し、議会基本条例に基づき、議員一丸となり「チーム議会」の確立を目指してまいります。結びに、町民の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

各議員の当初の質問に対する町担当者の答弁は、具体的な町の考え方、実際に物事がどの程度進んでいるのか、事務的で抽象的な答弁が多く、もう少し分かりやすい言葉ではっきり答えて欲しいと思つたのは私だけでしょうか。再質問の議員との一問一答は、町担当者の答弁も具体的になって大変良かったと思えました。町の財政が厳しいことは私だけでなく町民皆さんが心配していると思います。坂下厚生病院の移転



町民にとって身近な議会を目指し、町政の発展に議会全員で取り組んで参ります。

## みなさんの声

### 議会傍聴に参加して

五香 唐司 繁光

五香いきいきクラブは、楽しむ「学ぶ」役に立つ「を」を会員の大きな活動目標にしています。議会傍聴は「学ぶ」事の一環として毎年実施しています。

今回の議会定例会の質問を興味深く大変期待しながら議場に入りました。

後継の跡地の事、少なくなっている企業の跡地をどうしたら誘致できるかなどやる事は山積みです。町担当職員、議員の最大の仕事は、町民に不安や心配を与えない事です。積極的に前向きに頑張つて欲しいと思います。

そのためにも議会傍聴を積極的に宣伝して多くの町民が議会傍聴を行い、住み良い坂下町になるように、白熱した議論で協議・討論される議会運営を願っています。

## 編集後記

また1年が過ぎ、新たな気持ちで新年を迎えることができました。昨年は地震に台風と災害の多い年でした。本年は希望あふれる年となるよう心より願うばかりです。

今定例会におきましては、各使用料や利用料が大きく見直されました。一般質問においても、多数の議員が財政について質問するなど、町の財政政策が大きく注目されております。

「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」

誰もが知るこの言葉を残した上杉鷹山は困窮した藩財政を再建した名君でした。いまこそ先人の知恵から学ぶときなのかもしれません。

この議会の任期も残すところ2か月となりました。議員一同、最後までしっかりと責務を全うしてまいります。

(副委員長 赤城大地)

### 議会報編集特別委員会

- 委員長 猪俣 恒雄
- 副委員長 赤城 大地
- 委員 横山 智代
- 委員 三橋 薫
- 委員 五十嵐 正康
- 委員 酒井 育子

